

消化器系

■消化器系は（ ）と（ ）、（ ）、（ ）から構成される。

■消化管は口腔→（ ）→（ ）→（ ）
→（ ）→（ ）→肛門と続く。

■口腔の上壁は口蓋からなり、前2/3は骨支柱を持つ（ ）、後1/3は横紋筋からなる（ ）である。

■口腔と咽頭の境を（ ）といい、（ ）
が垂れ下がっている。

■口峽の左右の側面にリンパ器官である（ ）が
あり、舌の後ろの（ 舌扁桃 ）、咽頭上部の（ 咽頭扁桃 ）、
耳管咽頭口の（ 耳管扁桃 ）とともに、（ ワニダイエル ）
の咽頭輪を構成する。

■舌は（ ）神経支配の（ ）筋からなる。

■舌の前2/3の体性感覚は（ ）神経で、味覚は
（ ）神経、後ろ1/3は体性感覚、味覚とも
（ ）神経支配である。

■咽頭は空気の通路である（ ）と、食物の通路である
（ ）の交叉部である。

■咽頭は上部から（ ）、（ ）、（ ）
の3部に区分され、それぞれ鼻腔、口腔、喉頭と連絡する。鼻部
には中耳からの（ ）が開く。

■咽頭筋の運動と感覚に関する神経は上部が（ ）神経
で、下部が（ ）神経である。

■食道は気管の（ ）に位置し、（ ）から、
（ ）の高さに位置し、胃につながる約（ ）cmの管である。

■食道の入口は食物などが通過するとき以外は（ ）。

■食道には（ ）、（ ）、横隔膜の（ ）の
3か所の狭窄部がある。

■食道の筋層は上部が（ ）筋、下部が（ ）筋、中部は（ ）であり、
（ ）運動により食物を胃に送る。

■胃の入り口を（ ）といい、横隔膜の直下で（ ）の左側に位置する。

■胃壁は（ ）、（ ）、（ ）の3層からなる。

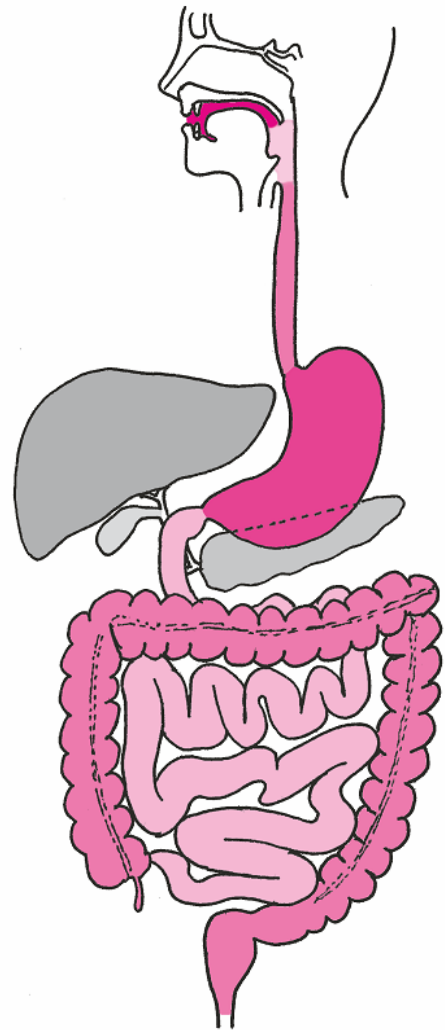
■胃の筋層はよく発達しており、外側から、（ ）筋、（ ）筋、（ ）
筋の3層からなる。他の消化管の筋層は（ ）層である。

■胃の出口を（ ）といい、（ ）が発達しており（ ）に位置する。

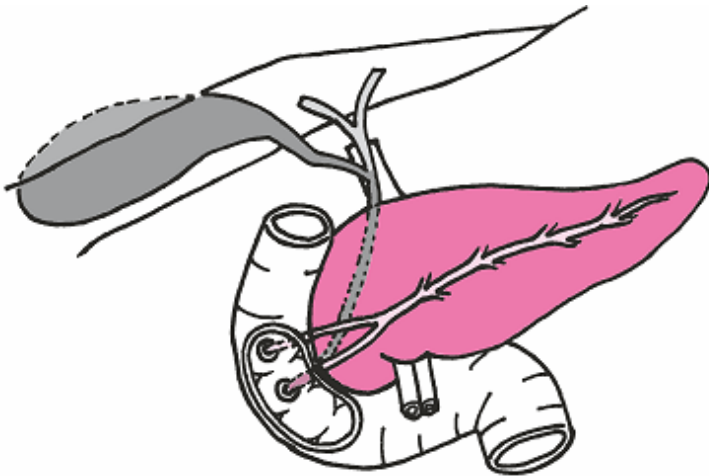
■胃は上部から、（ ）部、（ ）部、（ ）部に区分される。

■胃の右縁を（ ）、左縁を（ ）という。

■大弯からは腹膜である（ ）が垂れ下がる。



- 肝臓の下面と胃の小弯は、腹膜の（ ）によって結合している。
- 胃内には（ ）ヒダがある。
- 小腸は前方より、（ ）、（ ）、（ ）の3部からなる。
- 十二指腸は約（ ）cmで（ ）の高さに位置する。
- 十二指腸はC字型で（ ）部、（ ）部、（ ）部、（ ）部の4部に区分される。
- 総胆管と主膵管は、十二指腸の（ ）部にある（ ）に開口する。この開口部には（ ）が存在する。



- 上行部にある（ ）靭帯は、この曲部を後壁に固定する。
- 小腸内面は（ ）ヒダ、（ ）、（ ）によって表面積を拡大させて、（ ）しやすい構造となっている。
- 大腸は（ ）、（ ）、（ ）の3部からなり、さらに結腸は（ ）結腸、（ ）結腸、（ ）結腸、（ ）結腸の4部に分けられる。

- 大腸と小腸の間には（ ）弁がある。
- 大腸内面には（ ）ヒダがあり、絨毛はない。
- 肛門には、平滑筋からなり（ ）神経支配の（ ）筋と、横紋筋からなり（ ）神経（陰部神経）支配の（ ）筋がある。
- 直腸の（ ）刺激により排便反射が誘発される。
- 脊髄の排便反射時の中枢は（ ）である。
- 膵臓は、右側より（ ）、（ ）、（ ）の3部に分かれ膵尾は（ ）の前面に接する。内分泌腺があるランゲルハンス島は（ ）に多い。
- 肝臓は（ ）の直下に位置し、重量は成人で約（ ）gの人体で最大の腺である。
- 肝臓の左側は胃の（ ）と接する。
- 肝臓の上面は、（ ）により、大きい（ ）葉と小さい（ ）葉に分けられる。
- 肝門には、（ ）、（ ）、（ ）が通過する。
- （ ）は肝門を通過せず、肝臓の後面から下大静脈に流入する。
- 肝臓の栄養血管は（ ）動脈から分枝する総肝動脈の分枝の（ ）動脈であり、小葉間（ ）となる。
- 肝臓の（ ）血管は（ ）で、胃、腸、膵臓、脾臓からの血液が肝臓に流入し、小葉間（ ）となる。
- 肝管は肝臓で産生された胆汁の（ ）で、左右の肝管がある。
- 左右の肝管が合わさって（ ）となり、胆嚢から来る（ ）と合流し、（ ）となる。
- 胆嚢は肝臓の（ ）にあり、胆汁の（ ）と（ ）に関わる。

消化器系

■消化器系は（消化管）と（膵臓）、（肝臓）、（胆嚢）から構成される。

■消化管は口腔→（咽頭）→（食道）→（胃）→（小腸）→（大腸）→肛門と続く。

■口腔の上壁は口蓋からなり、前2/3は骨支柱を持つ（硬口蓋）、後1/3は横紋筋からなる（軟口蓋）である。

■口腔と咽頭の境を（口峽）といい、（口蓋垂）が垂れ下がっている。

■口峽の左右の側面にリンパ器官である（口蓋扁桃）があり、舌の後ろの（舌扁桃）、咽頭上部の（咽頭扁桃）、耳管咽頭口の（耳管扁桃）とともに、（ワニダイエル）の咽頭輪を構成する。

■舌は（舌下）神経支配の（横紋）筋からなる。

■舌の前2/3の体性感覚は（三叉（下顎））神経で、味覚は（顔面）神経、後ろ1/3は体性感覚、味覚とも（舌咽）神経支配である。

■咽頭は空気の通路である（気道）と、食物の通路である（消化管）の交叉部である。

■咽頭は上部から（鼻部（上部））、（口部（中部））、（喉頭部（下部））の3部に区分され、それぞれ鼻腔、口腔、喉頭と連絡する。鼻部には中耳からの（耳管）が開口する。

■咽頭筋の運動と感覚に関する神経は上部が（舌咽）神経で、下部が（迷走）神経である。

■食道は気管の（背側）に位置し、（C6）から（T10（11））の高さに位置し、胃につながる約（25）cmの管である。

■食道の入口は食物などが通過するとき以外は（閉じている）。

■食道には（入口（C6））、（気管分岐部（T4））、横隔膜の（食道裂孔（T10.11））の3か所の狭窄部がある。

■食道の筋層は上部が（横紋）筋、下部が（平滑）筋、中部は（両者の混合）であり、（蠕動）運動により食物を胃に送る。

■胃の入り口を（噴門）といい、横隔膜の直下で（第11胸椎）の左側に位置する。

■胃壁は（内膜）、（中膜（筋層））、（外膜）の3層からなる。

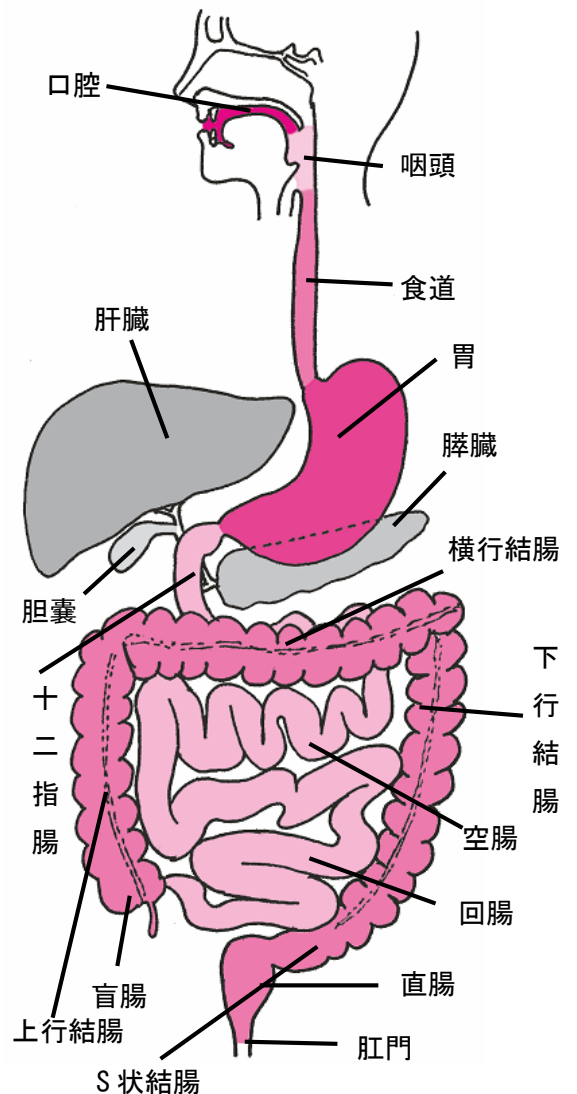
■胃の筋層はよく発達しており、外側から、（外縦走）筋、（内輪走）筋、（最内斜走）筋の3層からなる。他の消化管の筋層は（2）層である。

■胃の出口を（幽門）といい、（括約筋）が発達しており（第1腰椎の右側）に位置する。

■胃は上部から、（胃底）部、（胃体）部、（幽門）部に区分される。

■胃の右縁を（小弯）、左縁を（大弯）という。

■大弯からは腹膜である（大網）が垂れ下がる。



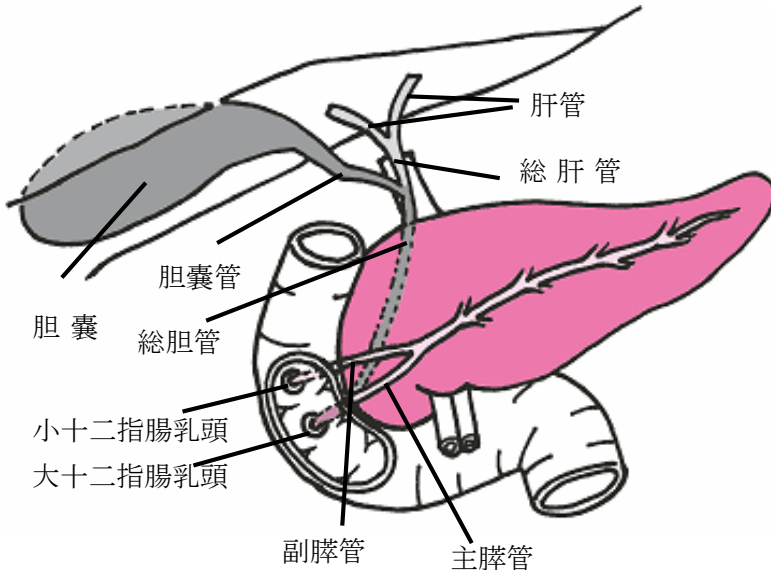
■肝臓の下面と胃の小弯は、腹膜の（ **肝胃間膜** ）によって結合している。

■胃内には（ **粘膜** ）ヒダがある。

■小腸は前方より、（ **十二指腸** ）、（ **空腸** ）、（ **回腸** ）の3部からなる。

■十二指腸は約（ **25** ）cmで（ **第1~3腰椎** ）の高さに位置する。

■十二指腸はC字型で（ **上部** ）部、（ **下行** ）部、（ **水平** ）部、（ **上行** ）部の4部に区分される。



■総胆管と主膵管は、十二指腸の（ **下行** ）部にある（ **大十二指腸乳頭（ファーター乳頭）** ）に開口する。この開口部には（ **オッディ括約筋** ）が存在する。

■上行部にある（ **トライツ** ）靭帯は、この曲部を後壁に固定する。

■小腸内面は（ **輪状** ）ヒダ、（ **絨毛** ）、（ **微絨毛** ）によって表面積を拡大させて、（ **吸収** ）しやすい構造となっている。

■大腸は（ **盲腸** ）、（ **結腸** ）、（ **直腸** ）の3部からなり、さらに結腸は（ **上行** ）結腸、（ **横行** ）結腸、（ **下行** ）結腸、（ **S状** ）結腸の4部に分けられる。

■大腸と小腸の間には（ **回盲** ）弁がある。

■大腸内面には（ **半月** ）ヒダがあり、絨毛はない。

■肛門には、平滑筋からなり（ **自律** ）神経支配の（ **内肛門括約** ）筋と、横紋筋からなり（ **体性** ）神経（陰部神経）支配の（ **外肛門括約** ）筋がある。

■直腸の（ **伸展** ）刺激により排便反射が誘発される。

■脊髄の排便反射時の中枢は（ **第2~4仙髄** ）である。

■膵臓は、右側より（ **膵頭** ）、（ **膵体** ）、（ **膵尾** ）の3部に分かれ膵尾は（ **脾臓** ）の前面に接する。内分泌腺があるランゲルハンス島は（ **膵尾** ）に多い。

■肝臓は（ **横隔膜** ）の直下に位置し、重量は成人で約（ **900~1200** ）gの人体で最大の腺である。

■肝臓の左側は胃の（ **前面** ）と接する。

■肝臓の上面は、（ **肝鎌状間膜** ）により、大きい（ **右** ）葉と小さい（ **左** ）葉に分けられる。

■肝門には、（ **固有冠動脈** ）、（ **門脈** ）、（ **肝管** ）が通過する。

■（ **肝静脈** ）は肝門を通過せず、肝臓の後面から下大静脈に流入する。

■肝臓の栄養血管は（ **腹腔動脈** ）動脈から分枝する総肝動脈の分枝の（ **固有肝** ）動脈であり、小葉間（ **動脈** ）となる。

■肝臓の（ **機能** ）血管は（ **門脈** ）で、胃、腸、膵臓、脾臓からの血液が肝臓に流入し、小葉間（ **静脈** ）となる。

■肝管は肝臓で産生された胆汁の（ **導管** ）で、左右の肝管がある。

■左右の肝管が合わさって（ **総肝管** ）となり、胆嚢から来る（ **胆嚢管** ）と合流し、（ **総胆管** ）となる。

■胆嚢は肝臓の（ **下面** ）にあり、胆汁の（ **濃縮** ）と（ **貯蔵** ）に関わる。